

あぐい



第159号

平成25年10月15日発行

議会だより



もうすぐ菊の花がきれいに咲きます！（草木保育園）



2P 主な議決内容



6P 常任委員会レポート



7P 一般質問



15P 追跡レポート



16P 保育園紹介「草木保育園」

平成25年 第3回定例会

可決

平成24年度阿久比町
一般会計歳入歳出決算

反対討論

辻 忠男 議員

①就学前に幼稚園・保育園に入園する時代であり、幼稚園の定員増をすべき。
②給与・年金の減額、物価高、消費税率の引き上げ等、苦しむ町民目線で考え国民健康保険税の引き下げを検討すべき。
③狭あい道路施策や循環バスのより一層の充実など、町民からの要望が実現してない。

賛成討論

久保秋男 議員

平成24年度の主な新規事業や重点事業の実施状況を見ると、積極的に事業展開が図られている。

今後も、この厳しい社会経済状況が早期に好転することは難しいと思われるが、なお一層の行財政の簡素化・効率化に努

められるよう要望し、賛成討論とする。

反対討論

杉野 明 議員

①町民税の年少扶養控除の廃止や特定扶養控除の対象年齢の縮小による大幅な増税。
②財政調整基金の過大な貯め込み。
③木造住宅耐震改修補助の拡大をすべき。
④太陽光発電設置補助を拡大し、再生可能エネルギーへの取り組みを進めるべき。

可決

平成25年度
阿久比町
一般会計
補正予算

反対討論

澤田道孝 議員

町は当初新しいところを買うことは避けたいと言っていたが、今になって駐車場を買うのは計画性がない。
また、交渉中を理由に駐車場の場所を明示せず、地形もわからない。
わからないことづくしの、この補正予算案に賛成するのは無理である。

同意

固定資産評価審査委員会
委員の選任(再任)

山内 英治 氏
(阿久比)

同意

教育委員会
委員の任命(再任)

竹内 弘行 氏
(板山)

諮問

人権擁護委員
の推薦(再任)

竹内 祥樹 氏
(阿久比)

法務大臣へ推薦することになりました。

平成24年度 決算

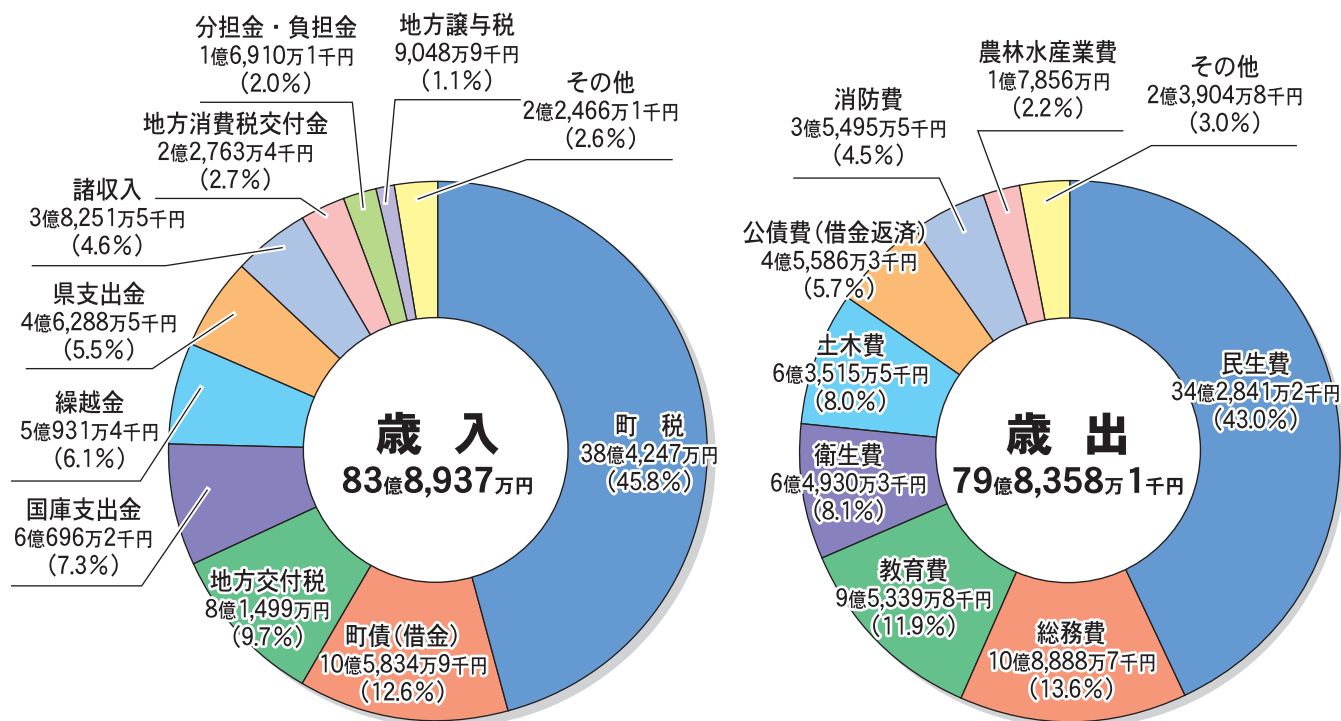
平成24年度一般会計、5つの特別会計と水道事業会計の決算を審議した。

一般会計の歳入歳出差引額（形式収支）は、4億578万9千円の黒字となった。そのうち、翌年度（平成25年度）に繰越すべき財源としての繰越明許費繰越額1,407万1千円（新庁舎建設事業など）を差引いた実質収支は、3億9,171万8千円の黒字となった。

一般会計決算は、歳入・歳出ともに前年度より増額となっており、歳入の主な増額となったものは町債、繰越金、諸収入などである。

また、歳出の主な増額となったものは、新保育所建設事業費や宮津保育園増築改修事業、自立支援介護等給付費業などである。

平成24年度 一般会計決算



平成24年度 特別会計・企業会計決算

区 分		歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額	
国 民 健 康 保 険		27億4,752万5千円	24億4,292万1千円	3億460万4千円	
土 地 取 得		16万2千円	16万2千円	0円	
下 水 道 事 業		6億370万1千円	5億9,350万5千円	1,019万6千円	
介 護 保 険		14億5,645万7千円	14億65万4千円	5,580万3千円	
後 期 高 齢 者 医 療		2億5,687万3千円	2億5,494万1千円	193万2千円	
水道事業会計	収益的収支	4億5,338万8千円	4億4,953万3千円	385万5千円	(税抜き)
	資本的収支	1億6,220万6千円	2億1,550万2千円	△5,329万6千円	(税込み)



町民の声を

内閣総理大臣などに提出

採択

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

提出者 久保 秋男 議員

要約

少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期実施が不可欠である。

そのために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元することは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

採択

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 鈴木 一夫 議員

要約

平成22年度から「高校無償化」の方針の下、国公立高校のみが無償化されている。

私学へも一定の就学支援金が支給されたものの、今なお私学の生徒と保護者は高い学費、公私間格差を強いられている。

国の責務と私学の重要性にかんがみ、国庫補助制度を堅持し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図られるよう強く要望する。

採択

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 都築 重信 議員

要約

私立学校は、公立学校とともに県民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っており、愛知県下の高校生の三人に一人は私学で学んでいる。

父母負担と教育条件の公私格差を是正することは、長年にわたる県政の最重要施策でもあった。従って、授業料助成を拡充するとともに、学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを要望する。

陳情

◇定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

◇国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

◇愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

◇私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書

◇「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について

◇原発事故・子ども被災者支援法に関する陳情書

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

議案

- ◎ 阿久比町立中央公民館の設置及び管理に関する条例及び阿久比町使用料条例の一部改正
- 平成25年度阿久比町一般会計補正予算（賛成14名 反対1名）
- ◎ 平成25年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算
- ◎ 平成25年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- ◎ 平成25年度阿久比町介護保険特別会計補正予算
- ◎ 平成25年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算
- ◎ 平成25年度阿久比町水道事業会計補正予算
- ◎ 備品購入契約の締結について（小型動力ポンプ付積載車）

認定

- 平成24年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定（賛成13名 反対2名）
- ◎ 平成24年度阿久比町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 平成24年度阿久比町土地取得特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 平成24年度阿久比町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 平成24年度阿久比町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 平成24年度阿久比町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定（賛成13名 反対2名）
- ◎ 平成24年度阿久比町水道事業会計決算認定

同意

- ◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ◎ 教育委員会委員の任命

諮問

- ◎ 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

報告

- ・ 専決処分報告（損害賠償及び和解）
 - ・ 専決処分の報告（損害賠償及び和解）
 - ・ 平成24年度阿久比町健全化判断比率及び資金不足比率
- ※報告は賛否を取らない。



公民館南館で行われている「あぐいトリエンナーレ60」

10月1日から31日まで、中央公民館南館で「あぐいトリエンナーレ60」が開催されている。

栗本百合子さんはじめ、たくさんの方々の気持ちの詰まった「記憶の遊園地」が完成。

11月末には、新庁舎建設のために取り壊されてしまう南館ではあるが、きれいに飾られた南館をぜひご覧いただき、最後の思い出の1頁に…。

常任委員会レポート

総務建設

南館解体 11月下旬

当委員会に付託された補正予算及び決算認定を審議した。

一般会計補正予算では、

中央公民館南館解体工事での駐車場不足対策として、職員駐車場の解放と近隣に駐車場の確保。

中央公民館南館解体工事の増額補正は、物価の高騰や前倒し、追加工事によるものである。

解体は、11月17日の産業まつり終了後。

決算認定では、耐震診断が進まないが普及のPR不足はないか、耕作放棄地を太陽光発電に利用できないか、町指定の公



解体される中央公民館南館

園管理費のうち地区での認定とも原案通り可と決

整備費が少ないとの指摘

した。

水道事業について有収

委員会終了後、解体す

率を上げることができな

る中央公民館南館を視察

いか、等の質問が出た。

した。

審議の結果2議案、4

(沢田栄治議員)

文教厚生

決算認定で費用対効果を検証

当委員会に付託された5議案及び4決算認定を審議した。

議案の主なもの、

阿久比町立中央公民

館の設置及び管理に関

する条例及び阿久比町

使用条例の一部改正、

国民健康保険特別会計

補正予算、介護保険特

別会計補正予算、後期

高齢者医療特別会計補

正予算である。

さらに平成24年度の

決算認定では、教育費、

民生費関係の審議を行

った。



宮津保育園

委員会審議の結果、

決算認定において、

全員賛成2件、賛成多

数2件で、原案通り可

決及び認定した。

また、委員会では議

案審議と合わせ、4月

に開園した英比保育園、

増改修した宮津保育園、

あぐいトリエンナーレ

の準備をしている中央

公民館南館を視察し、

それぞれ意見交換を行

った。

(山本和俊議員)



新美 秀夫 議員

新庁舎建設

平成26年4月着工

新庁舎建設は、防災の拠点として安全なまちづくりには欠かせない事業であり、町民が待ち望んでいる。

問 実施設計から新庁舎完成に至るすべての予定は。

答 実施設計と南館解体は来年3月に完了。新庁舎建設工事の入札公告も3月に行い、4月頃着工、平成27年9月中旬に完了後、現庁舎から引越し予定。

その後現庁舎、町営プールの解体、平成28年1月頃から多目的ホール、食堂棟などの建設に入り、平成29年3月に外構工事を含め、すべての工事を完了する予定。

問 工事中、現庁舎及び中央公民館の進入路と駐車場はどのようにするか。

答 駐車場の不足分は現在の職員駐車場を予定。工事用車両と一般車両

が交差する場所には交通整理員を配置する。

問 新庁舎の入札に地元企業との共同企業体は参加できるか。

また、受注業者に地元企業を下請けに使用するように要請する考えはあるか。

答 地元企業の共同企業体の参加及び下請負における積極的な活用を検討する。

問 新庁舎の構造方式は、免震構造と耐震構造を採用するが、どう違うのか。また、どのくらいの震度に耐え得るか。

答 ホール棟は耐震構造I類を採用。建物自体の構造が地震に耐える強度を持つ。かつ庁舎棟は免震構造を採用。建物と基礎の間に免震装置を配置し、地盤の揺れを直接建物に伝えない構造。どちらの構造も建築基準法に定める強度の1・5倍の強度を持つ。

半田池

協議中

植大地域は、過去に豪雨で矢勝川が決壊し、甚大な被害にあった。その川のの上流にある半田池の所有権が民間企業に変わり、ため池としての機能を失わないことを望んでいる。

問 新しい所有者が半田池をどのように利用するか。

答 地権者とは、本年4回協議したが、現時点では整備方針は、はっきりしていない。今後整備方法等の協議を重ねていく。

問 半田池を防災ため池として存続させるかを、半田市・常滑市と協議したか。

また、その結論は。

答 2市1町とは、本年4回協議したが、防災ため池としての存続についてまとまっていない。今後協議を重ね2市1町の統一した見解を見出した。

問 「半田池を景観保全と防災ため池としての位置付」を求め、植と大古根の住民の署名を提出したが、どのように受けたか。

答 署名された住民の方の趣旨は十分理解している。

2市と地権者も含め協議を重ねて共通する景観保全と防災ため池として位置づけていく。

空き家対策

是正依頼や指導



杉野 明 議員

全国的に空き家が増える中、倒壊や外壁落下などの恐れがある危険な空き家への対策が自治体の課題となり、先進自治体では「空き家適正管理条例」に向けた検討が始まっている。

問 所有者不明や、管理されていない空き家数は、確認ができない家屋は2件ある。

問 本町は空き家対策にどう対応していくのか。

問 本町は空き家調査を行ったか。

答 本町の老朽家屋調査は、平成24年6月に行政協力員に依頼して調査をした。

答 老朽家屋の管理は、所有者や管理者が管理するもの考える。老朽家屋に認定するためには、ガイドライン的なものにより、是正依頼や指導等を行う。

問 本町の空き家数は、
答 本町の老朽家屋は、現在9件となっている。



素早い対応が望まれる

農業施設維持管理

検討

町内の農業施設維持管理についてこれまで何度も質問してきたが、一向に改善の方向が見えないまま、事態はますます深刻化してきている。

問 各工区（地区）からはどのような意見や要望、改善点があがってきているか。

答 維持管理作業に伴って発生する残土や草の処理、漏水工事による掘削や舗装復旧費用、地区全体の用水管の老朽化などの意見がある。

問 ほ場整備後、今も機能をもっている工区は、

答 町内の土地改良区または工区は、事業の完了に伴って解散している。このため、土地改良区農業用水施設等維持管理協議会を組織し、大字単位で助成している。

問 昨年以来の「人・農地プラン」において、どのような話し合いがなされたか。

答 将来の地域農業の担い手づくりや農地集約を図ることのほか、農業者の高齢化により農地の維持管理ができないことなどが話し合われている。

阿久比駅の バリアフリー化

着実に

昨年の9月議会で、阿久比駅のバリアフリー化について、町長より「法的期限の平成32年よりも短い期間で実現したい」との答弁があった。早期の実現に向け住民の期待が高まっている。

問 阿久比駅のバリアフリー化について、その後の名鉄との間でどう話が進んでいるか。

答 長年の要望活動により、平成25年1月には、「阿久比駅バリアフリー化協議会」を設立することができ、工事の施工方法や概算事業費の検討をした。阿久比駅バリアフリー化事業の完了は、新庁舎建設に合わせて完了するよう要望している段階である。



鈴木 一夫 議員

図書館入り口交差点に信号

優先順位上位として要望

本町が目指す安全・安心には、信号機の設置は必要不可欠。

信号機設置の要望の、今までの経過と今後の課題。

問 平成18年度に最初に要望が出され、地元から再三要望があるが、どのように対応してきたか。

答 「当該交差点は、坂部駅西交差点から距離が近く、県道名古屋半田線に信号機を増やすことは交通渋滞がひどくなり進められない」とのことである。

再度要望書を提出していただき、半田警察署に信号機の必要性を十分説明し要望書を再提出した。

問 現地の事故発生状況・危険度・必要性の認識は。

答 事故件数は、車と原動機付自転車の出会い頭が平成22年と23年に各1件、車と原動機付自転車の追突が平成24年に1件、25年は現在0件。

県道道路拡幅も完了し、

歩道も設置されたが横断するには道路幅員が広く時間がかかり危険性があると認識している。

問 図書館や保育園もあり、優先順位・必要性も高いのではないかと。

答 住民が頻繁に利用する町立図書館への来客者や保育園への送迎の保護者の安全確保のためにも優先順位また必要性も十分高いと認識している。



図書館入り口交差点

問 今後の課題、問題点は。

答 今後は地元の要望があるなしに関わらず、優先順位上位として、町から要望していく。

坂部駅西にトイレ

地元要望

一般の町民が利用できる公衆トイレの設置をどう考えるか。

問 公園、野球場等の公衆トイレは、どこにいくつあるか。

答 丸山公園始め40公園に21基、野球場等は、白沢グラウンド始め4施設に4箇所設置してある。

問 一般的な公衆トイレは町としてあるか。ないのであれば、それはなぜか。

答 本町には公衆トイレはない。
公衆トイレは、人通りの多い繁華街等にあるものとする。

問 町内の各駅周辺でも地域住民や駅関係者が必要としている。その内容を把握しているか。

答 坂部駅と阿久比駅には、トイレがある。白沢駅と植大駅設置については、地元要望があれば、要望する。

問 公衆トイレ設置の今後の課題は。

答 公園のトイレの清掃等の維持管理は、各地区に委託している。
利用者のマナーの悪さやトイレ施設へのいたずらが後を絶たない。

問 設置に向け、衛生面・環境面、総合計画の位置付け等、今後の検討の必要性は。

答 公衆トイレの設置は、多くの人が集まる繁華街が無いため考えていない。



辻 忠男 議員

市街化区域の諸問題

適宜対応

問 市街化区域の未開発地域と面積（地域別）は。

答 本町の市街化区域面積は424ha、市街化率は17・7%。土地区画整理予定地域は、白沢地区13ha、卯坂姥ヶ谷地区6haある。

問 各駅周辺の整備状況と今後の考えは。

答 坂部駅と阿久比駅は、土地区画整理事業で整備を行った。白沢駅、植大駅周辺の整備は、地元の意思を踏まえて整備方法、整備手法等を決定していく。

問 既存宅地（白沢台・福住園高台）の市街化地域編入の見通しは。

答 既存市街地を市街化区域に編入するには、面積要件もある。本町の都市計画マスタープランには、市街化区域に編入する計画はない。

問 白沢台は、県道に接続している以外、抜け道が不十分である。対策は。

答 町道2232号線南付きの閉鎖は、県道西尾知多線へ通り抜ける車両による交通事故を危惧する地元の意向により閉鎖した経緯がある。

問 福住園高台から南への抜け道の危険性の対策は。

答 町道2161号線の一部は、申田池の堤が道路となっている。道路拡幅には、土地所有者の了解が必要である。

問 住宅地間の防犯灯の新設は。

答 防犯灯の新設は、夜間の人通り、周辺の環境など防犯灯新設基準により年30灯新設している。

税滞納整理機構

適正に対応

問 本町の税滞納整理機構への委託・回収実績は。左表のとおり

年 度	件数	本 税	徴収税額	徴収率
平成23年度	98件	1億1,955万7,939円	8,889万8,039円	74.4%
平成24年度	99件	6,920万2,272円	4,706万6,068円	68.0%
平成25年度 (7月末現在)	80件	6,274万9,425円	1,861万1,935円	29.7%

る。

それでも納税していただけない場合は、「引継予告通知兼納付催告書」を通知した後、再度納税相談に応じている。

このほか、預金など財産調査を行い、資産を十分把握したうえで適正な滞納処分を進めている。

問 本町の生活保護世帯に対する県の対応を把握しているか。

答 就労支援等の詳細な生活指導内容は把握していないが、今後も福祉事務所と連携を図り、適正に進める。

問 県の福祉医療制度の推進に申し入れを。

答 現行の福祉医療制度の継続、また子ども医療費助成の拡大などを引き続き要望していく。

ループアンテナ設置

検討課題

問 町民がよく利用する窓口や多目的ホール、議会傍聴席にループアンテナを設置しては。

答 現在実施設計を進めているが、庁舎やホール施設に磁気誘導ループシステムを導入することは考えていない。今後、設計を進めるにあたっての検討課題にしたい。窓口では備品として導入することも考えられる。

ループアンテナ(磁気誘導ループシステム)

聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備のこと。
磁界を発生させるワイヤーを輪のように這わせることから、「磁気ループ」とも呼ばれている。

問 税滞納整理機構へ委託する前の町の対応は。

答 毎年11月に、滞納額30万円以上の滞納者へ「差押予告通知書」を送付のうえ納税相談に応じてい



都築 重信 議員

防災訓練

自主防災会の育成

各地で防災の日に合わせて、いろんな訓練が行われた。阿久比町でも全町民対象の訓練が実施された。

問 今回の訓練の主な目的と、昨年との違いは。

答 住民の方々一人ひとりが、災害時に「自ら何をすべきか」を考え、自主的に災害対策に取り組んでいただき「自助・共助」のレベルアップと地区モデル班から地区災害対策本部、さらに町災害対策本部への情報集約体制を確立することを目的とした。

前年度までの各世帯1名の避難行動から、各地区ごとで「隣保班」を基に「モデル班」を中心とした避難訓練と、簡易無線機を使い災害対策本部と各地区防災会との通信訓練を実施した。

問 防災訓練の効果は。

答 地域の防災対応、意識をこれまで以上にレベルアップし、町全体の防災力を強化し「自助・共助」の育成に十分ににつながる効果があった。

問 今後の防災訓練の予定は。

答 9月11日に行われる全国一斉情報伝達訓練により、防災行政無線が正常に稼働するかの確認を行う。また正常に稼働しなかった場合の職員の対応訓練を行う。



草木地区の炊き出し訓練

消防団

機能別消防団員を導入

日頃消防団がいるだけで心強さを感じ、安心感を持つことができる。

消防団の現状と今後。

問 消防団の人数は。

答 現在の消防団員数は83人。

問 必要とする団員数は。

答 阿久比町消防団条例の規定では、105人となっている。

問 非常時のみ応援活動できる「臨時団員」の確保はできないか。

答 平成26年度に機能別消防団員を導入する予定。

問 土手や山火事等、水利から離れている場合の水の確保に、愛知用水の利用を考えては。

答 愛知用水の使用について、覚書を交わすよう今後協議を進める。



愛知県消防操法大会（8月10日）に出場

問 長時間の消火活動では、団員の負担はかなりきつくなるが、水分補給等の対応は。

答 水分補給については、今後の検討課題とする。

機能別消防団員

仕事や家庭の都合等で全ての活動に参加することが困難な場合に「火災予防・広報団員」と「OB団員」として活動する団員のこと。

阿久比町では、消防団を引退した方にその豊富な経験を生かして消防団の活動に携わっていただく「OB団員」を導入予定。



環状線

県と慎重に検討



澤田 道孝 議員

都市計画道路環状線、阿久比地内の今後の見通し。

問 環状線開通の今後の見通しは。

答 町内の東西交通の円滑化が図れるため県に早期事業化を要望している。

問 野崎交差点の交差方法の計画は。

答 野崎交差点は、まちな未来像を勘案し、どのような交差方法が最も大切かを県と町とで一緒に慎重に検討する。

問 環状線実施に関する本町・半田市・県・国の考え方は。

答 本町としては、南の玄関口との認識で早期事業化を今後もあることあると県に要望する。

問 阿久比町内の面整備の考え方は。

答 本町の南玄関をつくることにより、新たなまちづくりとなるような面整備ができるように県とともに考えて進める。

問 環状線の一般質問が過去19回行われた。その回答全般を伺う。

答 環状線についての一般質問は、過去幾度となくあったが、現在の状況と今後の計画予定等についての内容である。



野崎交差点東

町管理職に女性を

女性の意識も大切

問 平成25年2月13日、中日新聞知多版の記事「進め 一般職 意識付け課題」について伺う。

答 本町の男女共同参画プランでは「女性が適切な管理職につき、能力を十分発揮できるような職場環境をつくりまします。」と記載されている。

このような職場環境にすることが大切である。新聞記事で指摘されていた「女性自身の意識づけ」が高まれば、管理職への登用に繋がると考える。

問 知多半島5市5町の中で「管理職に占める女性の数と割合」は、本町が0%になっている原因は。

答 平成24年度の調査時点では課長相当職以上の該当者がいないため、0%となっている。

平成25年2月13日付け 中日新聞に掲載された表
＜管理職に占める女性の数と割合＞

	■2008年度			■2012年度		
半田市	27(137)	19.7%		30(142)	21.1%	
常滑市	23(138)	16.7%		18(99)	18.2%	
東海市	15(132)	11.4%		13(105)	12.4%	
大府市	3(67)	4.5%		4(68)	5.9%	
知多市	16(90)	17.8%		3(52)	5.8%	
阿久比町	0(20)	0%		0(20)	0%	
東浦町	1(38)	2.6%		3(40)	7.5%	
南知多町	7(54)	12.9%		7(47)	14.9%	
美浜町	9(51)	17.6%		13(55)	23.6%	
武豊町	1(27)	3.7%		3(27)	11.1%	

※2012年4月1日付の数字 かつこ内は管理職の総数



沢田 栄治 議員

公園等遊具の点検

安全点検を実施

老朽化や点検の不備などで重大な事故や怪我が起きないように、都市公園等に設置の遊具と町管理の遊具の安全点検・管理を、どのように実施しているのか。

問 過去3年間で町管理の遊具による怪我などの報告件数・内容・その対処法は。

答 公園、保育園、幼稚園、卯ノ山児童館、小中学校では、過去3年間に遊具の不具合、破損が原因の怪我は発生していない。

問 町管理の設置場所数と遊具の総数は。

答 遊具は、34公園に136基、保育園・幼稚園・卯ノ山児童館の6施設に76基、小学校4校に31基、ふれあいの森に16基設置してある。

問 遊具の安全点検の内容は。

答 点検業者に委託し、目視・触手・調音・打音・揺動の各診断を行い劣化

判断をしている。

問 老朽化した遊具の対処方法は。

答 安全点検をして使用禁止となったものは、修理をするか撤去をする。劣化した部分は、交換や塗装をしている。

問 遊具の耐用年数の管理方法は。

答 遊具全体としての耐用年数はない。

各部材の安全上問題なく利用できる期間があるので、それを参考に管理している。

問 地域住民からの不備の指摘への対応は。

答 住民の方から通報があれば職員が現地を確認して、修理可能なものは修理し、修理できないものは、業者に修理を依頼する。

問 老朽化した遊具の新設等、今後の計画は。

答 安全点検内容を精査して遊具自体の交換が必要なのは、同種の遊具に交換する。

問 公園遊具の管理者としての想いは。

答 遊具は、子どもが遊びを通して、直接体験できる有効な器具である。有効に、大切に使用してほしい。



ふれあいの森 公園遊具

半田池の存続

2市と地権者と協議

矢勝川、十ヶ川下流域の植大地区の住民は、半田池の埋め立てにより、大雨災害時が非常に不安となるが、町の考えは。

問 町として2市1町にまたがる半田池をどのように注視してきたか。

答 半田市の「半田市水防計画」の「流量調節ため池」等と位置付けていた。

また「東部土地管理農業協同組合」が水位調整を行っていた。所有権が移った現在半田市が水位調整をしている。

このようなことから本町としてこれまで防災ため池と位置付けていない。

問 町として半田池の存続をどう考えているか。

答 買収も視野に入れ、景観保全・防災ため池として存続できるよう共通の認識のもと、2市と地権者と協議を重ねていく。

問 地元住民の活動内容を把握しているか。

答 植大地区が過去に水害に遭われているので、今後水害に遭わないように半田池を流量調節する防災ため池として存続するための署名活動と把握している。

問 今後、町ができる対応は。

答 関係する2市と地権者に対して景観保全と防災ため池として位置付けを強く要望する。

学童の安全対策

地域の見守りが大切



三留 享 議員

平成 24 年 犯罪分析ワースト 5 (阿久比町)

住 宅 侵 入 盗	46 件
自 転 車 盗	41 件
車 上 ね ら い	34 件
空 き 巣 ね ら い	15 件
部 品 ね ら い	8 件

問 最近の本町内での刑事事件及び同未遂事件の発生状況。

答 左表のとおり。

7 月末、大府市内小学校において、女児連れ去り未遂事件が発生した。数日前には校内で不審者が目撃されている。この種の犯罪は性犯罪の一類型であり、再犯率が高い。本町学童の犯罪被害予防を問う。



青パトでの巡回

問 学童の安全対策。

答 各学校では、危機管理マニュアルを作成し、校内無線通報システムや、刺叉も設置している。防犯教室を開催し、声に出す、防犯ベルを鳴らす等の指導をしている。また、「安全・安心パトロールカー」を活用した巡回を定期的に行っている。

見守り隊

東 部 小 学 校	38 人
英 比 小 学 校	47 人
草 木 小 学 校	25 人
南 部 小 学 校	47 人

問 見守り隊の現状

答 東部小、英比小、草木小、南部小、計 157 人の登録者が、交代で登下校時刻に合わせて、見守りをしている。



英比小学校の見守り隊

追跡レポート 2年前の あの答弁はどうなった!!

平成23年11月 1日発行
第151号より

Q

防犯対策について。

① 阿久比インター東にて、不審者が度々出ている。防犯灯を増やすなどの対応策は。

② 野外、農地、農道等において資材や農機具が盗難にあっている。
防止対策は。

A

① 防犯灯設置による安全対策を実地する。

② 盗難事件等を確認した時は、回覧文書やホームページに掲載する。

現在は



設置された防犯灯（阿久比インター東）

① 行政協力員から防犯灯の新設要望を受け、要望箇所にて2カ所設置した。

② その後、盗難事件発生等の情報はない。

Q

狭あい道路解消への取り組みについて。

① 「後退用地に関する指導要綱の整備」は。

② 補助金申請しない理由は。

現在は

A

① 現在の後退用地に関する指導要綱には、建築後退した土地の測量、分筆、所有者移転等の基準が明確でないため、新たな要綱の制定を検討している。

② 狭あい道路整備促進事業補助金を活用した道路改良工事はしていないが、今後、道路改良工事の一つの方法として同補助金の活用を考えて行く。

① 平成25年4月1日より施行の阿久比町狭あい道路の整備に係る後退用地等の確保に関する要綱で、土地の測量は申請者の負担で行い、分筆測量と所有者移転登記は町の負担で行うことを定めた。

② 国庫補助は、土地の買収費用、分筆測量及び所有者移転費用を申請している。補助率は、50%補助となっている。

保育園 紹介

草木保育園

地域の中で育っています！

たんぽぽ笛の作り方を
教えてもらったよ。



●**れんげ畑にて**
4月、れんげ畑に招待
してもらい、花を摘んだ
り、虫を捕まえたりして
思いっきり遊ばせてもら
いました。

草木保育園は、人との
ふれあいを大切にしながら、
意欲・自律・思いや
りの芽生えを培い、心身
ともにたくましく、よく
遊ぶ子どもを目指してい
ます。

●**保育園でお米作り**
6月に田植えをしまし
た。
地域の方にいただいた
土を裸足で踏み、稲を植
えるのに最適なものに
しました。
子どもたちは、ドロドロ
の土の感触に大喜び！
その後お米の苗を植え
ました。



花かつみ園で、地域の人に
写真を撮ってもらいました。

●**花かつみ見学**
6月、きれいに咲いた
花かつみを年長児が見に
出かけました。

今、こーんなに
たくさんのお米が
実っています！



田植えの仕方を教え
てもらっています。
みんな真剣！！



10月にたくさん実った
お米を収穫し、毎年恒例
のおにぎりパーティーを
みんなで行う予定です。

これから地域の人た
ちとのつながりを大切に
していきたいと思ってい
ます。
どうぞよろしく願いま
す。

●**餅つき大会**
毎年恒例のお餅つき。
高砂会のみなさんに準備
をしていただき、一緒に
お餅をついたり、食べた
り、楽しいひと時を過
します。

●**親子で菊作り**
7月に地域の人に教え
てもらい親子で菊づくり
を始めました。
自分の菊が大きくきれ
いな花を咲かせることを
願い、子どもたちは水や
りを頑張っています。
地域の人たちも交代で
消毒をしたり、肥料をや
ったり、いろいろなお世
話をしてくれています。

次回定例会

12月5日(木) (開催予定)

午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ

議会だより編集特別委員会
委員長 渡辺 功
副委員長 山本 和俊
委員 沢田 栄治
委員 竹内 一美
委員 都築 重信

町制60周年を機に、さ
らに住みよいまちをめざ
していきたい。

楽祭…
町民レク大会、菊花展
文化祭、産業まつり、音

気候がよく過ごしやすい
ことから、本町におい
ても多くの行事が行なわ
れる。

「食欲の」「読書の」「実
りの」「スポーツの」「芸
術の」など、さまざまな
言葉が冠される。

秋といえば。

編集後記